

新ケミカル商事

新社長就任、環境事業も積極展開

新ケミカル商事では今年4月に油嶋武晴氏が新社長に就任した。これまで中期ビジョン「NCT-26」を掲げてきたが今年はその最終年度。コロナ禍の逆風のもと、油嶋社長は「飛躍」をスローガンに持続的成長力・企業価値の向上を軸に新中期ビジョンへのステップアップの重要な年度と位置付けている。

同社の事業の核は建材・化学品・樹脂・肥料・炭素材の5つからなる。建材事業では日鉄高炉セメント社と共同でNC建材を立ち上げた。樹脂事業では日鉄ケミカル&マ

テリアルのスチレン系樹脂事業を自社に完全移管、環境分野にも注力しリサイクル難燃樹脂の販売を強化している。

海外事業では昨年台湾に拠点を設立。樹脂再生や電子材料分野等でのアジア拠点と位置づけ強化していく。

環境事業では、昨年に溶剤再生事業の強化に向け東洋化成工業を取得し自前の再生工場を手にした。さらに、グループ会社のNCTフロンティアは家電リサイクルによる樹脂再生工場を建設し、今月から稼働している。